



JASDAQ

証券コード 6432

株式会社 竹内製作所

第50期 報告書

平成23年3月1日から平成24年2月29日まで

世界初から世界の**Takeuchi**へ

Takeuchi: *From World First to World Leader*



当社ホームページ
(<http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>)

株式会社竹内製作所
〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205

R270
古紙配合率70%再生紙を使用しています



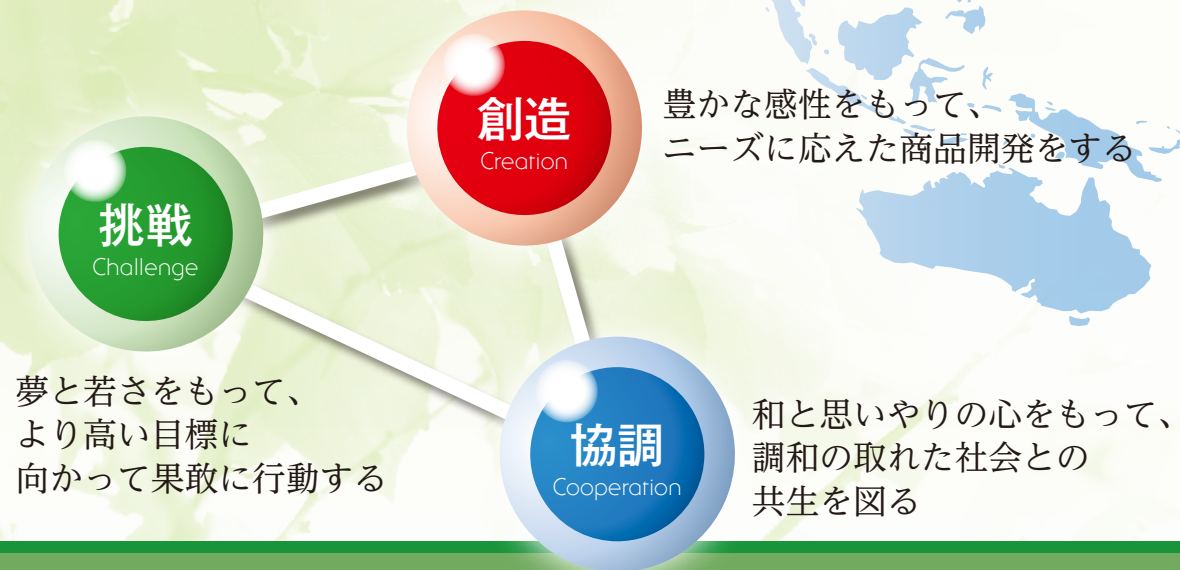
機種名 TL250

企 業 理 念

世界初から世界の **TAKEUCHI** へ

- ・私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、**TAKEUCHI** のものづくりを追求します。
- ・グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- ・一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

社 是



経営には緊張感と健全な危機感が不可欠である。

人材とは優秀な能力とやる気の両面を兼ね備えている人を指す。

私たちはチャレンジ精神に満ち、活気ある楽しい職場づくりに努力する。

私たちは正しい企業活動を通して人々の幸福を喜びとする。

代表取締役社長 竹内 明雄

Message トップメッセージ

常にグローバルスタンダードを担う企業として
企業体質の強化と収益力の更なる向上に努めます。



代表取締役社長 竹内 明雄

2012年2月期の市場環境について お教えください。

A 日本の製造業は、昨年3月の大震災、10月のタイ洪水の深刻化など相次ぐ災害で、生産拠点やサプライチェーンが打撃を受け、景気全体にもその影響が波及しました。しかし、こうした景気の足踏み状態も、年明けから徐々に生産が回復するにつれて、緩やかではありますが回復の兆しが見え始めています。

また、当社グループの主力市場である米国、欧州及び中国の経済情勢につきまして、米国では、消費者の景況感が上向きに転じ消費マインドが持ち直しつつあることから、底堅い個人消費を支えとして景気の回復力が出てきました。しかし、住宅着工件数はなおピーク時の3分の1にとどまるなど、サブプライムローン問題発生以降に鮮明化した住宅市場における住宅在庫の需給バランスの調整には、今しばらくの時間が必要と思われます。欧州におきましては、欧州債務問題の拡大を背景に企業や消費者のマインドが悪化し、企業の設備投資や個人消費が落ち込んでいます。早急な財政再建を求められている国では、歳出の削減に加え、政府自体の資金不足で公共事業の支払いが滞る事例も多発し、失業の増加が社会問題ともなっています。さらに政府の債務危機が金融の収縮を誘発し、経済が堅調なドイツにまで波及する可能性が出ています。このため、欧州全体としても景気は昨年後半から失速し、足元でも低迷が続いています。中国では、金融引き締

め政策が功を奏した形でインフレ懸念が後退し、金融緩和による景気の下支え余地が出てきたことから、内需は底堅く推移しています。しかし、経済成長を支えてきた欧州向け輸出が、欧州債務危機によって減速しているため、景気は緩やかに減速しています。

このような経済環境を背景として、当社が事業領域とする建設機械業界では、前年の反動や更新需要の回復により、前年同期と比較して米国及び欧州で需要が増加しました。一方で、世界最大市場に成長した中国市場では、政府の金融引締めや不動産投資規制の影響を受けて需要は減少しました。

2012年2月期の業績はいかがでしたか。

A このような環境において、2012年2月期の当社グループの業績は、前年同期と比較して、中国では金融引締めによってミニショベル、油圧ショベルの需要が低下したことから販売台数が減少した一方で、米国ならびに欧州では、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの需要が増加し、販売台数も拡大しました。さらに、当社製品に対する信頼の高さや、ディストリビューター網に支えられた地域密着型サービスの展開によって売上高が増加しました。この結果、2012年2月期の売上高は、402億6千5百万円となり、前年度に比べて15.3%増加しました。

Financial Report **2012**

Feature

特集・What is クローラーローダー？

もうひとつの主力商品「クローラーローダー」

1971年、当社が世界に先駆けて開発したミニショベルは、建設機械の新たな市場を切り開いてきました。さらに1986年には、現在当社の主力製品の一角に成長したクローラーローダーを世界ではじめて開発し、販売を開始しました。

ローダーは、主に土木工事の際の土砂や岩などを運搬、積み込みするための建設機械ですが、この種の建機には、より狭い場所や限られた空間での作業が要求されます。

さらに、一般的に作業現場は不整地が多く、当社の開発した無限軌道式のクローラーローダーは、タイヤ式のローダーよりも、そうした環境にはるかに適した製品と言えます。また、アタッチメントが簡単に交換できるため、掘削、除雪、畜産、園芸など汎用性が高いのも特徴です。

品質や耐久性において圧倒的な優位性を発揮する当社製品は、クローラーローダー市場においても高い評価をいただき、特に不整地の多い米国市場で飛躍的な伸びを示しました。現在、当社クローラーローダーの販売先は、約90%が北米、特に米国となっています。



機種名TL240



クローラーローダーの使用シーン

こんなところで当社のクローラーローダーが活躍しています。



不整地を安定して整備



ショベルと連携して土砂を運搬



大量の土砂を積み込み



ハリケーン通過後のがれき処理

アタッチメントの
交換で用途拡大

除雪作業



植樹作業



フォークリフト

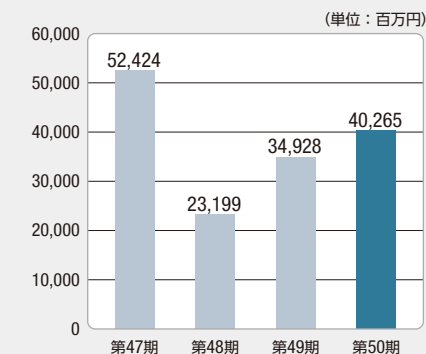


掘削作業

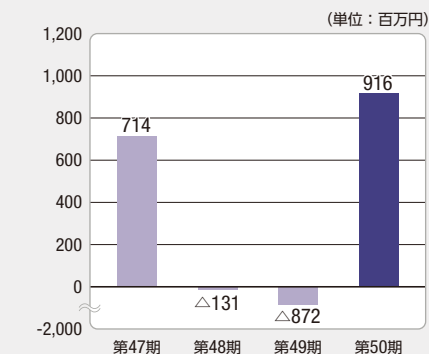
Consolidated Financial Highlight

連結財務ハイライト

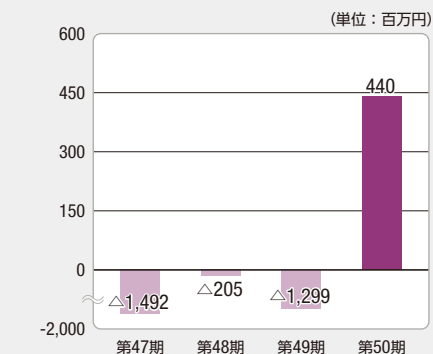
売上高



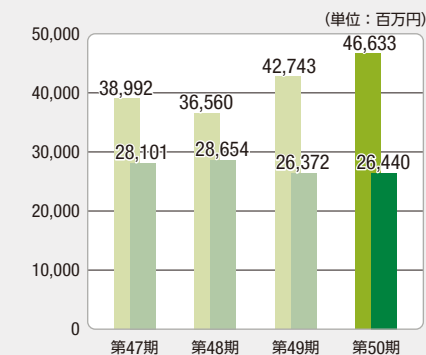
経常利益



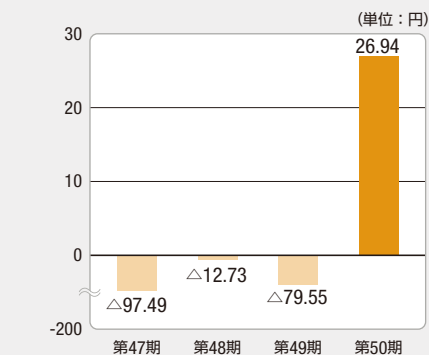
当期純利益



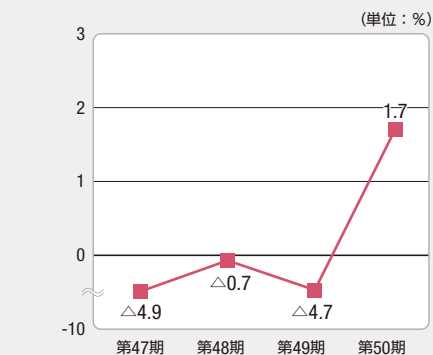
総資産・純資産



1株当たり当期純利益



自己資本当期純利益率(ROE)



Point 1 売上高、当期純利益

米国及び欧州において建設機械の需要増により、販売台数が増加したこと、製品価格の値上等から、売上高が増加しました。また、原価低減の進捗、利益率の高い補修部品売上が増加したこと等により、当期純利益を確保しました。

Point 2 純資産

純資産は前期末に比べ6千7百万円増加し、264億4千万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が3億6千5百万円減少しましたが、当期純利益により利益剰余金が4億4千万円増加したことによるものです。

Consolidated Financial Data

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表（単位：千円）

区 分	当 期	前 期
	平成24年 2 月29日現在	平成23年 2 月28日現在
【資産の部】		
流動資産	39,110,459	34,832,819
固定資産	7,522,822	7,910,521
資産合計	46,633,281	42,743,340
【負債の部】		
流動負債	19,684,073	15,958,595
固定負債	508,808	411,924
負債合計	20,192,881	16,370,519
【純資産の部】		
株主資本	29,554,129	29,114,182
資本金	3,632,948	3,632,948
資本剰余金	3,631,665	3,631,665
利益剰余金	22,292,767	21,852,757
自己株式	△3,250	△3,188
その他の包括利益累計額	△3,113,729	△2,741,361
その他有価証券評価差額金	△12,174	△5,670
為替換算調整勘定	△3,101,555	△2,735,691
純資産合計	26,440,399	26,372,821
負債純資産合計	46,633,281	42,743,340

連結株主資本等変動計算書 当期(自 平成23年 3 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
平成23年2月28日 残高	3,632,948	3,631,665	21,852,757	△3,188	29,114,182	△5,670	△2,735,691	△2,741,361	26,372,821
連結会計年度中の変動額									
当期純利益			440,009		440,009				440,009
自己株式の取得				△62	△62				△62
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△6,503	△365,864	△372,368	△372,368
連結会計年度中の変動額合計	—	—	440,009	△62	439,947	△6,503	△365,864	△372,368	67,578
平成24年2月29日 残高	3,632,948	3,631,665	22,292,767	△3,250	29,554,129	△12,174	△3,101,555	△3,113,729	26,440,399

連結損益計算書（単位：千円）

区 分	当 期	前 期
	自 平成23年 3 月 1 日 至 平成24年 2 月29日	自 平成22年 3 月 1 日 至 平成23年 2 月28日
売上高	40,265,283	34,928,078
売上原価	34,340,850	30,199,843
売上総利益	5,924,433	4,728,234
販売費及び一般管理費	4,572,854	4,656,236
営業利益	1,351,579	71,998
営業外収益	134,540	157,294
営業外費用	569,475	1,101,872
経常利益又は経常損失（△）	916,643	△872,579
特別利益	6,851	3,653
特別損失	35,922	17,150
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	887,573	△886,077
法人税、住民税及び事業税	434,340	316,106
法人税等調整額	13,223	97,044
当期純利益又は当期純損失（△）	440,009	△1,299,228

連結キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

区 分	当 期	前 期
	自 平成23年 3 月 1 日 至 平成24年 2 月29日	自 平成22年 3 月 1 日 至 平成23年 2 月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,880,320	2,795,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234,652	179,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,530,865	△871,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△475,939	△421,076
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	△2,060,047	1,682,086
現金及び現金同等物の期首残高	8,717,778	7,035,692
現金及び現金同等物の期末残高	6,657,731	8,717,778

Non-Consolidated Financial Data

単体財務諸表（要旨）

貸借対照表（単位：千円）

区 分	当 期	前 期
	平成24年 2 月29日現在	平成23年 2 月28日現在
【資産の部】		
流動資産	25,795,899	22,082,393
固定資産	6,762,752	6,672,985
資産合計	32,558,652	28,755,379
【負債の部】		
流動負債	11,301,948	7,934,302
固定負債	436,176	289,683
負債合計	11,738,125	8,223,985
【純資産の部】		
株主資本	20,832,700	20,537,063
資本金	3,632,948	3,632,948
資本剰余金	3,631,665	3,631,665
利益剰余金	13,571,337	13,275,638
自己株式	△3,250	△3,188
評価・換算差額等	△12,174	△5,670
その他有価証券評価差額金	△12,174	△5,670
純資産合計	20,820,526	20,531,393
負債純資産合計	32,558,652	28,755,379

株主資本等変動計算書 当期(自 平成23年 3 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)（単位：千円）

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合 計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合 計	
		資 本 準 備 金	資本剰余 金 合 計	利 益 準 備 金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余 金 合 計						
平成23年 2月28日 残高	3,632,948	3,631,665	3,631,665	22,000	16,060,000	△2,806,361	13,275,638	△3,188	20,537,063	△5,670	△5,670	20,531,393
事業年度中の 変動額												
当期純利益						295,699	295,699		295,699			295,699
自己株式の取得								△62	△62			△62
株主資本以外の項 目の事業年度中の 変動額（純額）										△6,503	△6,503	△6,503
事業年度中の 変動額合計	－	－	－	－	－	295,699	295,699	△62	295,637	△6,503	△6,503	289,133
平成24年 2月29日 残高	3,632,948	3,631,665	3,631,665	22,000	16,060,000	△2,510,662	13,571,337	△3,250	20,832,700	△12,174	△12,174	20,820,526

7

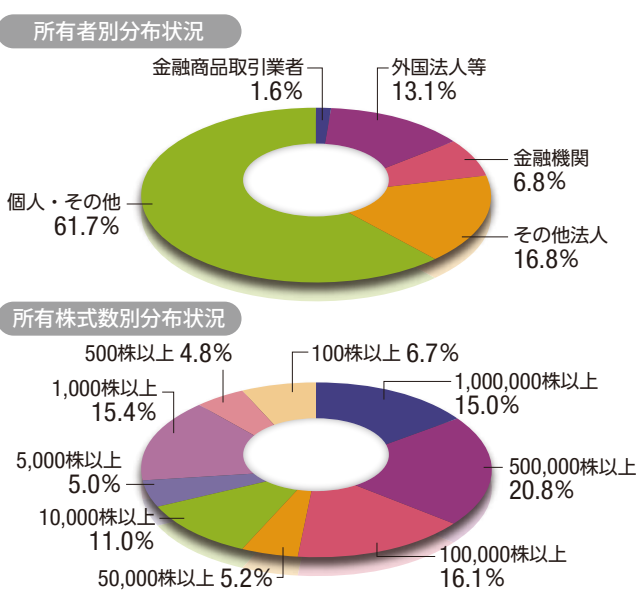
Stock Information

株式の状況 (平成24年2月29日現在)

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	16,333,000株
単元株式数	100株
株主数	8,934名
大株主	

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
竹内 敏也	1,298	7.9
豊田通商株式会社	1,143	6.9
竹内 明雄	900	5.5
タイヨーパールファンドエルピー	800	4.8
東京中小企業投資育成株式会社	601	3.6
株式会社ティク	600	3.6
竹内 好敏	500	3.0
株式会社八十二銀行	480	2.9
竹内 民子	480	2.9
伝田 林太	302	1.8

●株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	毎年2月末日（中間配当を実施するときは8月31日）
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 http://www.takeuchi-mfg.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）

- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

7

Corporate Data

会社概要 (平成24年2月29日現在)

商 号	株式会社竹内製作所
(英文社名)	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.
本店所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城9347番地 (同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。)
本 社	〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205番地
代 表 者	代表取締役社長 竹内 明雄
設立年月日	昭和38年8月21日
資 本 金	3,632百万円
事 業 内 容	建設機械及び攪拌機等の開発、製造及び販売
従 業 員 数	425名

●役員の状況 (平成24年5月25日現在)

代表取締役社長	竹内 明雄
取締役副社長	竹内 敏也
取締役副社長	依田 信彦
取締役	真壁 幸雄
取締役	神山 輝夫
取締役	宮崎 義久
取締役	衛藤 大輔
取締役	宮入 健誠
常勤監査役	草間 稔
監査役	森田 弘毅
監査役	植木 芳茂

(注) 常勤監査役草間稔、監査役森田弘毅及び植木芳茂は、社外監査役であります。

●主要な工場及び営業所

工 場	営業所
村上工場 戸倉工場 千曲工場	長野県埴科郡 長野県千曲市 長野県埴科郡
東京営業所 大阪営業所 名古屋営業所	東京都港区 大阪市中央区 名古屋市中川区

●ネットワーク



※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター（当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店）を通じて販売を行っております。